

学位論文内容の要旨

学位申請者	<p style="text-align: center;">菌部 幸枝</p> <p style="text-align: center;">【ライフサイエンス専攻 平成22年度生、 10月入学者】</p>	要 旨
論文題目	<p style="text-align: center;">中学校理科教育の改善を目指した実践的研究 —科学への興味・関心の醸成と定着の ために—</p>	<p>わが国では諸外国に比べると、科学への興味・関心や科学の楽しさを感じている生徒の割合が著しく低く、現在大きな問題となっている。本論文では、理科の授業に科学史や科学者の人物像を取り入れることで、この問題に対応した。</p> <p>第1章では、「科学者ダーウィンの生涯」を紹介する中学理科授業を新たに組み立て、その効果を調査した。その結果、授業そのものに対する興味・関心や、科学者に対する興味・関心を高める効果があることが確かめられた。第2章では、調査項目をさらに検討した上で、中学3年生の生物単元に3人の科学者人物紹介を組み入れ、単元全体でその効果があったかどうかを検討した。その結果、科学への関心が低いグループでは、科学への関心を高める効果があった。一方、科学への関心が高いグループでは、科学者への関心を高める効果があった。また、両グループに対して科学者の話や伝記への関心を高める効果があった。第3章では研究者による特別授業、生徒自身による科学者紹介、実験と組み合わせた教員による科学者人物紹介授業を考案・実践した。その効果を質的に比較したところ、授業への興味・関心が高まったことが示された。第4章では、生徒自身による科学者人物紹介の効果をより詳細に調査した。その結果、科学、科学技術の進歩・発展、科学者、科学者の話や伝記という4つの興味・関心を高める効果が発表グループだけでなく聴衆グループでも認められた。</p> <p>以上まとめると、本論文では、科学者人物紹介が中学生の科学への興味・関心と、授業そのものへの意欲も高めることを明らかにして、今後の理科教育改善への方策を提案することに成功した。</p>
審査委員	<p>(主査) 教授 千葉和義</p>	
	<p>教授 松浦悦子</p>	
	<p>教授 近藤和雄</p>	
	<p>教授 村田容常</p>	
	<p>准教授 富士原紀絵</p>	